

第36回日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会
第34回九州実験動物研究会総会
合同開催プログラム

日時：平成28年10月29日（土）～30日（日）（30日は若手研究会のみ）

会場：産業医科大学 ラマツィーニ小ホール 〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

10月29日（土）

受付 8:30～

開会挨拶

9:00～9:10

九州実験動物研究会会長
日本実験動物技術者協会九州支部長

大沢 一貴
野口 和浩

特別講演Ⅰ（実技協九州支部、実動協九州支部）

□ 9:10～10:10

座長： 佐加良 英治（兵庫医科大学動物実験施設）

演題：動物園動物の福祉

演者：岩野 俊朗（到津の森動物公園 園長）

特別講演Ⅱ（九実研）

□ 10:15～11:15

座長： 北嶋 修二（佐賀大学総合分析実験センター）

演題：遺伝子組換え動物を用いた下垂体後葉ホルモンの研究

演者： 上田 陽一（産業医科大学 第一生理学 教授）

ポスターセッション

□ 11:20～14:00（コアタイム11:20～12:00）

【九実研】 座長：瀬戸山 健太郎（鹿児島大学自然科学研究支援センター）

1. APPxPS2ダブルトランスジェニックマウスを用いたヘルペスウイルス潜伏感染下アルツハイマー病モデル

○田中聖一¹⁾、永島博²⁾

¹⁾ 福岡大学アニマルセンター、²⁾ (株) アニマルケア

2. ストレッチハンドリングによるラットのストレス軽減効果について

○中村綾花¹⁾、平山晴子²⁾、樺木勝巳²⁾

¹⁾岡山大学大学院医歯薬学総合研究科、²⁾岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門

3. ケナガネズミ精巢の組織学的評価 (1)

○加藤悟郎、後藤嘉輝、城ヶ原貴通、篠原明男、越本知大

宮崎大学フロンティア科学実験総合センター

4. MRG15はスプライシング制御を介して精子形成に必須の役割を果たす

○岩森巨樹¹⁾、富永薫²⁾、佐藤哲也³⁾、岩森督子¹⁾、大川恭行³⁾、小野悦郎¹⁾、Martin M. Matzuk⁴⁾

¹⁾九州大学大学院医学研究院、²⁾自治医科大学医学部、³⁾九州大学生体防御医学研究所、

⁴⁾Baylor College of Medicine

5. ヒト由来抗体発現トランスジェニックマウスを利用した抗NPモノクローナル抗体におけるインフルエンザウイルス感染防御能の解析
 ○ 藤本佳万¹⁾、尾崎絹代¹⁾、上地玄一郎²⁾、高桑弘樹³⁾、富岡幸子⁴⁾、藪田淑予³⁾、陶山晴香¹⁾、山本沙代¹⁾、森松正美⁵⁾、伊藤壽啓⁴⁾、大槻公一^{3,4)}、Le Quynh Mai⁶⁾、山城哲²⁾、小野悦郎^{1,4)}
¹九州大学 実験動物学、²長崎大学 熱帯医学研究所、³京都産業大学 鳥インフルエンザ研究センター、⁴鳥取大学 鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター、⁵北海道大学 実験動物学、⁶ベトナム国立衛生疫学研究
6. 可溶性 glycoprotein D 受容体発現トランスジェニックマウスの HSV-2 感染抵抗性の比較
 ○ 藤本佳万¹⁾、富岡幸子²⁾、尾崎絹代¹⁾、高桑弘樹³⁾、陶山晴香¹⁾、山本沙代¹⁾、森松正美⁴⁾、上出利光⁵⁾、小野悦郎¹⁾
¹九州大学 実験動物学、²鳥取大学 獣医実験動物学、³京都産業大学 総合生命科学部、⁴北海道大学 実験動物学、⁵北海道大学 遺伝子病制御研究所
7. ヨーロッパモリネズミ (*Apodemus sylvaticus*) SPF 化にむけた里親哺育の有有用性
 ○ 七條宏樹、加藤悟郎、篠原明男、越本知大
 宮崎大学フロンティア科学実験総合センター
8. 精巢特異的アクチン関連細胞間結合 Ectoplasmic specializatio とアクロソームに局在する新規タンパク質の同定
 ○ 岩森督子¹⁾、岩森巨樹¹⁾、松本雅記³⁾、小野悦郎¹⁾、Martin M. Matzuk³⁾
¹九州大学大学院・医、²九州大学・生医研、³バイラー医科大学

【実技協九州支部】 一般演題

座長：篠原 明男 (宮崎大学フロンティア科学総合センター)

1. 福岡大学アニマルセンターで発生した蟻虫感染とその収束確立
 ○ 清水直美¹⁾、川口雅人²⁾、田島柳一²⁾、松山 充²⁾、吉村 健吾²⁾、永島 博²⁾、田中聖一¹⁾
¹福岡大学アニマルセンター ²(株) アニマルケア
2. 二酸化塩素ガスによるラット用陰圧ビニールアイソータ除染の試み
 ○ 上杉幸紀¹⁾、藪田耕司¹⁾、柏原実¹⁾、松下裕二¹⁾、諏訪智也¹⁾、大塚宗¹⁾、森田智寛¹⁾、田中寛司¹⁾、後藤加名¹⁾、宮田博規²⁾
¹(株) アニマルケア、²産業医科大学 教育研究支援施設動物研究センター
3. ラットの摂餌量測定における飼料および給餌器について
 ○ 岡部 百合^{1,2)}、大久保一豊¹⁾、坂井 勇介¹⁾、松永知子³⁾、御船 弘治¹⁾
¹久留米大学医学部動物実験センター、²(株) バイオテック、³(株) シンファクトリー
4. 動物実験施設で分離された *Bordetella bronchiseptica* の Hartley モルモットに対する病原性
 ○ 亀山英子¹⁾、藤本佳万^{1,2)}、山本沙代¹⁾、赤星薫¹⁾、陶山晴香¹⁾、小野悦郎^{1,2)}
¹九州大学大学院医学研究院附属ヒト疾患モデル研究センター動物実験施設、²九州大学大学院医学研究院実験動物学分野
5. カニクイザルの尾先端部壊死治療としての改良断尾術
 ○ 本村優子、岩坂俊基、永野希織、川島良介、金子真大、和泉博之
 株式会社新日本科学 安全性研究所
6. ラット肝臓への外科的投与法の検討
 ○ 山本圭一、日高佐和子、吉川哲也、馬場澄明
 株式会社新日本科学 安全性研究所

昼食 12:00～13:00

(九実研 評議員会、小ホール内 2F 会議室)

第 3 4 回九州実験動物研究会総会 13:00～13:40

第 3 9 回日本実験動物技術者協会九州支部総会 13:40～14:00

特別講演Ⅲ（九実研）

□ 14:10～15:00

座長：樫木 勝巳（岡山大学自然生命科学支援センター）

演題：新規実験動物モデルツパイの開発

演者：小原 恭子（鹿児島大学共同獣医学部 教授）

特別講演Ⅳ（第385回日本実験動物技術者協会本部共催実技協・九州支部）

□ 15:00～15:50

座長：鳥越 大輔（熊本大学生命資源研究・支援センター）

演題：ゲノム編集の基本原則と限りない可能性

演者：山本 卓（広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻 教授）

閉会 15:50

第9回実験動物ジョイントセミナー・イン九州

□ 16:00～17:30

座長：大沢 一貴（長崎大学先端生命科学研究支援センター）

野口 和浩（熊本大学大学院生命科学研究部）

動物愛護管理法改正審議を控えて 動物実験の機関管理を推進するために考えるべきこと

（注：ジョイントセミナーは、九州実験動物研究会、日本実験動物協同組合九州支部、日本実験動物技術者協会九州支部との共同企画のため、ご参加はいずれかの会員及び招待者に限らせていただきます。）

閉会 17:30

懇親会 19:00～21:00

ホテルクラウンパレス北九州

（第6回若手勉強会 10月30日 10:00～12:00 産業医科大学 ラマツィーニ小ホール）